



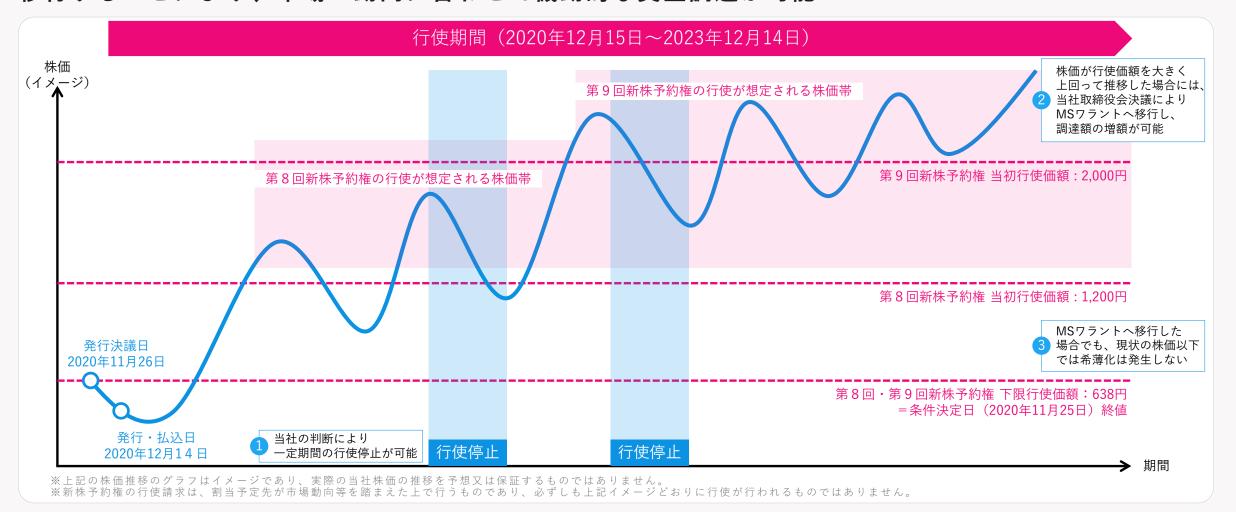
目標株価(ターゲット価格)で想定総額13.6億円の資金調達を目指す行使価額修正選択権付ターゲット・イシュー・プログラム (TIP)

		第8回新株予約権	第9回新株予約権	
発行方法		マッコーリー・バンク・リミテッドに対する第三者割当		
	行使期間	2020年12月15日~2023年12月14日		
想定調達額合計※1		13.6	13.6億円	
発行概要	● 各想定調達額※1	3.6億円	10.0億円	
	新株予約権個数	3,000個	5,000個	
	◯目的である株式数※2 ◯	300,000株 (発行済対比8.7%)	500,000株 (発行済対比14.6%)	
	当初行使価額	1,200円	2,000円	
行使価額	[行使価額修正選択権]	あり		
	行使価額の修正	当社取締役会決議によりMSワラントへ移行可	「能。以降行使前営業日終値×90%に随時修正	
	上限 / 下限行使価額	上限行使価額 なし / 下限行使価額 638円(=条件決定日株価)		
その他	付带条項	行使停止条項 (当社の判断で新株予約権を行使できない期間を指定)		
	取得条項	当社の判断で残存する新株予約権の取得・消却が可能		

^{※1} 新株予約権の仏込金額を含み、また、発生する新株予約権が自初行使価額で至く行使された場合の調達金額となります※2 発行済対比割合は2020年9月30日時点の発行済株式総数3,430,600株を基準に算出しております。



株価が目標株価(ターゲット価格)を上回って推移するタイミングで行使が進捗することを想定。 但し、目標株価を下回った状態が続く場合又は大幅に上回った状態が続く場合には、MSワラントへ 移行することにより、市場の動向に合わせて機動的な資金調達が可能





当社の中長期的な成長に寄与する4項目に調達資金を充当予定



フィンテック事業への充当資金

フィンテック事業拡大に伴う運転資金及び子会社である株式会社Real Fintechへの貸付資金に充当し、フィンテック事業の更なる成長に繋げます



新規メディア事業の買収及び成長投資資金

GAFAメディア戦略の推進のため、利益性の高い新規メディア事業の買収及び成長投資資金への充当により、高効率・高収益性の事業モデル構築を目指します



人材投資

積極的な事業展開を行っていくフェーズにある当社は、これに伴い不足することが見込まれる、当社の事業成長を支える人材の採用に調達資金を充当します



金融機関への借入約定返済資金

借入金残高を減少させ、当社の財務体質を強化することで、成長事業への資金投入のフレキシビリティを拡大します



GAFAメディア戦略の第二弾として、

Nico Inc.が運営するwebメディア事業「すーちゃんモバイル比較」を子会社を通じて1.8億円で譲受け



月間PV数

約**70**万PV

月間ユーザー訪問数

約50万人

売上高

営業利益

115百万円

107百万円

※2019年12月期の数字となります

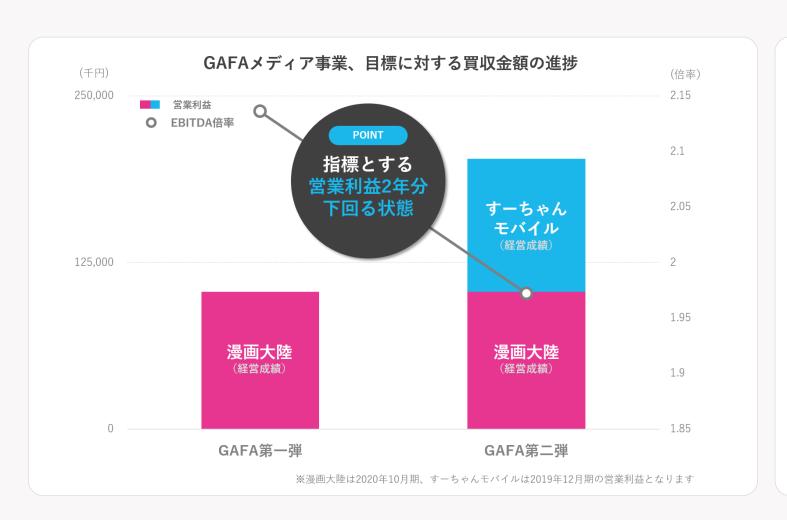
今後の方針

- ・ メディアM&A 今後も継続的に実施 エンタメ領域だけに限らず高利益率 で成長性が見込めるメディアを 積極買収
- ・保有メディア数の拡大、メディアPV 数の拡大、メディア収益性の維持・ 向上を軸とし「メディアPV数」× 「利益率」の最大化により、投資金 額の早期回収を目指す

GAFAメディア事業進捗



すーちゃんモバイル比較(前期営業利益1.1億円)と、10月に事業を譲り受けたwebメディアを併せ、 総EBITDA倍率は指標としている2.0倍を下回っての買収を実現



メディア買収における 指標・基準

・ 営業利益の2年分程度で買収

買収対象メディアで想定される営業利益の2年分程度で の取得を目標

・YMYL(※)の分野を除いたジャンル

競合他社が多く、Googleのガイドラインにおいて影響を大きく受けるYMYLの分野を除いたジャンルでの展開を 実施

・買収1年後、20%以上の営業利益成長目標

クラウドディレクターによる効率的な運用を実装、マーケティング支援ツール「HOTARU.AI」デジタルギフトサービス「RealPayギフト」等、事業シナジーを活かした成長戦略を描けるメディアを選定し、買収1年後20%以上の成長目標を掲げます

※YMYL・・・(Your Money or Your Life)の頭文字をとり、お金や人生(健康や安全など)に大きく影響するものとGoogleが位置付ける対象を示す用語



子会社の統合などを実施し、現在は「GAFAメディア事業・フィンテック事業」の 2つの事業を主力事業とし再成長を図る







当社の企業価値を最大化する為、10年後も継続する事業の柱を創造する





本資料に関する注意事項

本資料は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる 結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動と いった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。また、本資金調達に関する詳細につきましては、2020年11月26日付プレスリリース「第三者割当による行使価額修正条項付第8回~第9回新株予約権の発行及び新株予約権買取契約(ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」)の締結に関するお知らせ」をご参照ください。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

ネットからリアルへ。 REALWORLD ネットがリアルを喰ってはいけない。 ネットが人を孤独にしてはいけない。 ネットがコミュニケーションを断ち切ってはいけない。

人に役立つはずのネットが人を消耗させてはいけない。

食べること、笑うこと、話すこと、 動くこと、お金を得ること。 人が生きていくためのライフラインになれないなら、 ネットなんて必要ない。

新 し い 時 代 の 、 新 し い リ ア リ テ ィ を 創 っ て い こ う 。

それがリアルワールドの 自分たちへの、そして社会への責任。